

HOME > 世界のデザインニュース > 空間インスタレーションで雲の実体化

2016年2月22日

空間インスタレーションで雲の実体化

ツイート

いいね！ 0

シェア



イメージ提供：lionel curet、上部画像はpablo corradi

プエルトリコのアーティストlionel curetは仮想空間でありながらも物理空間に誘うようなインスタレーション「espacio intangible」（スペイン語で無形空間）でクラウドデータを実体化します。非常に複雑なシステムとデジタルストレージの相互接続ネットワークのメタファーとして考案され、視覚と聴覚を介してデータを可視化できるインスタレーションです。「espacio intangible」は映像と音響が一体型になっており、小さい可動式コンテナ内で行われます。このプロジェクトはまた、我々一人一人のメモリ（思い出）の代わりにクラウドデータを映すことによってデータ内のメモリの物理的な出現を目指しています。



内部のカラーシーケンス



可動式コンテナに人が立っている様子



Lionel Cruet - Espacio Intangible (Intangible Space)

from Lionel Cruet

00:30

動画提供：lionel cruet



インスタレーションは視覚と聴覚両方を使って物語を映し出す



外部の様子



「espacio intangible」 (スペイン語で無形空間)



コンテナの大きさは7x16x8フィート



コンテナの壁に映る鑑賞客の影



「espacio intangible」 lionel curet



映像と音響の装置



外部の様子



内部の様子